



子どもの森づくり通信

(発行:NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

「子どもの森づくり運動」
フラグシップ園会報
(2012年6月号)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264
http://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



季節外れの台風が上陸しましたが、各園におかれましては被害など如何でしたでしょうか。

被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

「子森通信」6月号をお送りします。

活動の原点に戻り、あらためて「育苗」をテーマの連載も始まりました。

ご意見賜ります様お願い申し上げます。

(目次)

1. 植樹活動レポート
 2. 森づくり活動レポート
 3. 事務局からのお知らせ
- どんぐり博士の育苗講座(その1)

■「子どもの森づくり運動」とは

今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期の)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼児期の子どもたちに「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」とは

特別ご協賛企業「日本郵政グループ」様との協働で、運動を全国に普及促進するフラグシップ活動を「JP子どもの森づくり運動」、フラグシップ活動実施園を「JP園」として活動を展開、2010年7月、フラグシップ園全国ネットワークが構築されました。

■「子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力 : (社)全国私立保育園連盟 (社)大谷保育協会
- (社)国土緑化推進機構 NPO法人C・C・C 富良野自然塾
- 全国森林インストラクター会 NPO法人自然体験活動推進協議会
- NPO法人MORIMORI ネットワーク (社)日本オート・キャンプ協会
- (株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部



1. 植樹活動レポート

フラグシップ園の植樹活動をご紹介します。活動の詳細はホームページをご覧ください。

■鳥取県「赤崎保育園」苗木の見送り会

日時:2012年5月31日(木) 主催:赤崎保育園 植樹場所:京都府「亀岡里山クラブ」管理地
日本郵政グループ:赤崎郵便局 松本局長 日本郵便 倉吉支店 持田支店長 協力:亀岡里山クラブ
*苗木の見送り会が開催され、園児たちが育てた苗木は、ブロック別共用フィールドに植樹されました。



■香川県「観音寺中部保育園」

日時:2012年6月25日(月) 主催:観音寺中部保育園 植樹場所:園庭
日本郵政グループ:観音寺郵便局 芝崎健政局長 インストラクター:魚見山森づくりの会
*理事長先生や郵便局長さんのごあいさつ後、インストラクターの指導で8本の苗木を園庭に植えました。



2. 森づくり活動レポート

フラグシップ園において取り組んでおられる、「子どもの森づくり運動」としての活動を紹介します。

今回ご紹介した活動も、子どもたちの森づくり活動として「グリーンウェイブ2012」にエントリーしています。

●奈良県「やまと保育園」 吉野の森体験 2012年6月1日(土)

「やまと保育園」の子ども達が、奈良森林インストラクター会の阪口さんのフィールドへ遊びに行きました。場所は、奈良県吉野の森の中。やまと保育園の先生と子ども達がバスで到着後、阪口さんが育てた2年生苗木を紹介次に7年生のクヌギ林で既にどんぐりをつけている木や100年生のコナラ、アカマツを見学。さらに、クヌギのホダ木によるしいたけの観察やクワガタ探し、さらにハンモックやタケノコ掘り体験など、楽しい時間を過ごさせていただきました。最後に、阪口さんが「やまと保育園」の子どもたちと一緒に拾い、バックアップとして育ててくれた2年生苗木が、年中さん26人に一人1本ずつ引き渡されました。苗木は、子どもたちによって園で育てられ秋に園庭に植樹されます。(by 子森ネット中村)



●埼玉県「児玉保育園」 苗木のお披露目会開催 2012年6月5日(火)

はじめに、保育士がキミックの紙芝居(キミックとどんぐりのぼうけん)を読み子ども達にどんぐりについての導入を行いました。今まで何度かみている子もいましたが、保育園の庭のどんぐりの木の下で見たこともあり、集中して見ることができました。次にどんぐりの成長について、神座先生(森林インストラクター)のお話をききました、昨年の年長児が拾ってきたどんぐりは、「くぬぎ」が多かったため今まで植えてきた「こなら」よりも早くずっと大きく成長していてびっくりしていました。また、神座先生から、どんぐりから根がでて、芽が伸びて成長していく様子を絵で解説していただいたり、本物をみたりしてより詳しく知ることができました。(by 児玉保育園清水秀二先生)



3. 事務局からのお知らせ

①東北ブロック研修会のご案内

7月2日(月)、3日(火)開催の近畿ブロック研修会につづき、東北ブロック研修会の開催日が11月27日(火)、28日(水)に決定しました。会場は、岩手県での開催を予定しております。詳細は、次月号にてご案内します。

②「Rio+20記念シンポジウム」出展レポート

主催:美しい森林づくり全国推進会議、経団連自然保護協会 公益社団法人国土緑化推進機構

日時:2012年6月29日(金) 13:00~18:00 会場:経団連会館2F「経団連ホール」

「森と木を生かすグリーンエコノミーの創出に向けて」をテーマに、民間、行政、合同のシンポジウムが開催されました。

「子どもの森づくり運動」では、シンポジウムと同時開催されたポスターセッションに参加しました。



●どんぐり博士の育苗講座(その1)

「どんぐり博士」です。活動の継続のために、あらためてどんぐりの苗木を育てる活動について、何回かに分けておさらいしたいと思います。不定期の連載ですのであらかじめご了承下さい。
(「どんぐり博士」河内和男:「子森ネット」森づくり推進チームリーダーとして、多くの幼稚園、保育園の森づくり活動に関わる。森林インストラクター。



◎今年度でほとんどの園が、どんぐりを拾ってから植樹までの第一回目の活動を完了します。

その結果、日本全国に「子どもの森」の赤ちゃんがたくさん誕生しました。うれしいですね。でもその誕生はどちらかというと難産だったのではないのでしょうか。そこでこのシリーズでは、園で苗を育てる際、苗と育てる側の両方に最も負担の少ない、目指すべき理想の栽培方法について、何回かに分けてご案内しようと思います。

◎安産になるための究極の栽培方法とは、「過保護にせず、自然に任せた」栽培です。極端に言うと水やりは自然に降る雨だけですむ方法です。考えてみてください、自然の森の樹はみなこうして育ってきたのです。この方法は、栽培者が上手に管理してあげた場合より苗は少し苦しくなり、一部枯れる物も出るかもしれません。でもコナラやクヌギなどは園芸種ではありませんから、自然からのストレスにある程度耐える力を持っています。その力の強い苗はしっかり残ります。反対に細かい管理の下での栽培の場合、管理を一つ誤れば苗全滅の恐れがあります。

◎今までの私の苦労は何だったのという先生方ごめん下さい。私も失敗を重ね、やっとうい切ることができるようになりました。今までの多くの先生方の苦労のおかげです。この究極の栽培方法を実現するためには、いくつかの工夫と知識が必要です。次回から具体的に一つずつ述べていきたいと思います。ぜひ読んでくださいね！